



レプタ 2 v406のアップデートの方法

レプタ 2 Windows版・Macintosh版

作成者：:株式会社クレッシェンド

2022年6月17日

バージョン: 4.0.6

❖はじめに

いつもレプタ2をご利用いただきましてありがとうございます。レプタ2のバージョンアップに伴い、一部機能の修正および改善を行いました。大変ご面倒をおかけして申し訳ございませんが、以下の方法で最新版レプタ2 v406へアップデートしてください。（v406とはバージョン（Version）4.0.5のことです。）

❖ご注意点

今回のレプタ2 v406は、最新の機能に置き換えるため、仕様に一部変更があります。

アップデートをご利用いただけるユーザとレプタ2のバージョン

レプタ2 v4.0.0-5のご利用のユーザ様が対象です。

❖動作環境

MacOS X10.12 Sierra

- 64-bit Intel Core 2 Duo プロセッサを搭載した Mac
- 2 GB の RAM、4 GB 推奨、1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

MacOS X10.11 El Capitan

- 64-bit Intel Core 2 Duo プロセッサを搭載した Mac
- 2 GB の RAM、4 GB 推奨、1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

MacOS X10.10 Yosemite

- 64-bit Intel Core 2 Duo プロセッサを搭載した Mac
- 2 GB の RAM、4 GB 推奨、1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

MacOS X10.9 Mavericks

- 64-bit Intel Core 2 Duo プロセッサを搭載した Mac
- 2 GB の RAM、4 GB 推奨、1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

Windows 10

- 1GHz 以上のプロセッサ
- 1 GB の RAM、2 GB 推奨
- 1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

Windows 8.1 、 Windows 8.1 Pro

- 1GHz 以上のプロセッサ
- 1 GB の RAM、2 GB 推奨
- 1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

Windows 8、Windows 8 Pro

- 1GHz 以上のプロセッサ
- 1 GB の RAM、2 GB 推奨
- 1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

Windows 7 Ultimate、Professional、Home Premium *

- 1GHz 以上のプロセッサ
- 1 GB の RAM、2 GB 推奨
- 1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

*上記動作環境であっても、必ずしも満足の行く作業が行なえない場合もあります。予めご理解ください。

❖修正・機能追加の箇所

V406での修正点

教会会員情報の郵便番号の表示を改善しました。

v405での修正点

印刷時のページ番号の桁を修正しました。

v403での修正点

伝票更新の機能を変更しました。

【伝票更新】の、摘要欄の置き換え機能を無効にしました。
これにより、【勘定科目】を変更した場合以下の部分を修正する必要があります。
【勘定科目】を変更した【仕訳帳】の伝票の摘要欄を書き換える必要があります。

v402での修正点

Windows 10のインストーラの改善
Webリンクの修正

v400での修正点

MacOS X10.10 Yosemite MacOS X10.11 El Capitanに対応しました。
Windows10に対応しました。

v350の修正点

レプタ 2 v350では、MacOS10.9 Mavericks、及び、Window 8.1およびWindow 8.1 Proに対応しました。
新機能：【中科目】を更新すると、以下の【中科目】が自動的に更新されます。（Ver300までは手動）

【勘定科目】（科目コード）で使用されている【中科目】の更新

【予算】で使用されている【中科目】の更新

【繰越・残高】で使用されている【中科目】の更新

【確定伝票】に使用されている【中科目】の更新

その後、【確定伝票】を元に【仕訳帳】を新しい【中科目】で更新

それぞれが行なわれます。

v301の修正点

レプタ 2 v301では、【決算処理】の時に、年度末の月を選択する方法が変更され、正しく計算されるようになりました。
また、【決算処理】後、復元を行った場合、【仕訳帳】に加え【振替伝票】の復元が出来るようになりました。

v300の修正点

レプタ 2 v300では、MacOS Mountain Lion 10.8、及び、Window 8,Window 8 Proに対応しました。
（MacOS10.5および、MacOS10.4は、サポート外となります。）



Ver255とV300ではデータの形式が異なります。そのままでは、V300では利用できないため、復元機能には、ファイルの変換機能が装備されました。

❖レプタ2 v406へのアップデートの方法

レプタ2 v406へのアップデートする前に、バックアップをとってください。

特にMacintosh版では必ずバックアップを取る必要があります。

バックアップすることで、アップデート中に問題が発生したとしても、復元できる可能性を残すことができます。

❖バックアップ作業

レプタ2全体のバックアップ

念のため、【レプタ2】フォルダーを右クリックして【コピー】を選択後、デスクトップに【貼り付け】ます。

レプタ2は以下のディレクトリにあります。

Windows 7-10の場合	:	ドキュメント>レプタ2
Macintoshの場合	:	書類>レプタ2

上記のディレクトリにある、レプタ2フォルダーをデスクトップにコピーするかUSBメモリースティックなどに保存してください。万が一、レプタ2のアップデートに失敗したときに備えて、必ずバックアップをお願いします。

❖インストール作業

新しいバージョンのレプタ2 v406をインストール

1、インストーラをダブルクリックしてレプタ2をインストールします。

（弊社HPよりダウンロードした場合のファイル名称は【L_Update406_Win】・【L_Update406_Mac】となります。
※ファイル名称の後に拡張子がついている場合もあります。）

2、インストール後、バックアップした（USBメモリースティックなど）以前の【_Backup】から【Data.USR】
【Note.USR】【Jimu.USR】を新しい【レプタ2】の【_Backup】フォルダーへコピーします。

3、【レプタ2】を起動します。パスワードを要求されたら製品付属のパスワードを入力します。

（最新版のレプタ2にアップデートされた場合、メイン画面にあるバージョン表示が【Ver4.0.6】になります。）

4、【レプタ2】は、【_Backup】フォルダーに【Data.USR】【Note.USR】【Jimu.USR】が存在していると、データの復元をすることができます。

もし、復元に失敗しても、バックアップデータから復元可能です。

5、教会名称 会計期間 開始月などの基本情報を確認してください。

❖データの復元作業

データを復元する

もし、データの復元に失敗した場合やMacintosh版では以下の操作を行います。

一旦【レプタ2】を終了して以下の操作を行います。

操作には、上記でバックアップしたデータを使いますので、準備します。

- 1、デスクトップまたはUSBメモリースティックなどにバックアップした【レプタ2】フォルダーの中の【Data.USR】【Note.USR】【Jimu.USR】を右クリックしてコピーを選択します。

(拡張子は非表示になっている場合もあります。)

- 2、ドキュメントにある【レプタ2】フォルダー内の【_Backup】フォルダーを開きます。

- 3、ここでマウスを右クリックして【貼り付け】を選択します。

【Data.USR】【Note.USR】【Jimu.USR】を上書きするかを聞いて来る場合もあります。バックアップデータを入れ替えるためOKします。(必ず、この【_Backup】フォルダーに入れてください)

- 4、新しい【レプタ2】を起動します。

※起動時に、自動復元機能が働きます。

ここで復元が完了しますが、もし動作がうまくいかない場合には、5以降も操作して下さい。

- 5、会計作業を開始します。

(まだ何も復元されていません。)

- 6、【メニューバー】から、【会計作業】と書かれたメニューから【バックアップの復元(Ver4)】を選択します。

- 7、復元作業が実行されます。

- 8、復元後、献金者（会員コード）がにデータが反映されていない場合には、献金者を更新する必要があります。

【設定】▷【献金者】をクリックして献金者の画面を開きます。その後、右上にある、【献金者コードを更新】をクリックします。会員情報に登録されている、情報が、献金者に反映されます。

- 9、【設定】の【予算】【繰越・残高】をクリックして内容を確認してください。

ご注意：

データの復元をした場合、元の【振替伝票】に書かれていた【伝票番号】が変わる場合があります。

❖作業完了

以上で作業完了です。データなどに不備がないかを【設定】【予算】【繰越・残高】【仕訳帳】【元帳】【試算表】などを確認してください。

お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

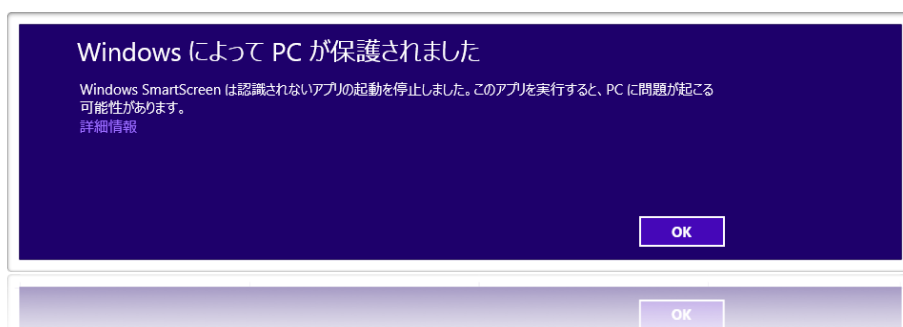
❖このアップデータがインストーラとなります

この最新版アップデータが今後のレプタ2のインストーラとなります。インターネットで弊社HPよりダウンロードされた方は、このインストーラをCD-Rなどに焼いて保存しておくことをお勧めします。今後、PCなどを変更した場合などでレプタ2のインストールが必要になった場合、このアップデータを使ってインストールしてください。

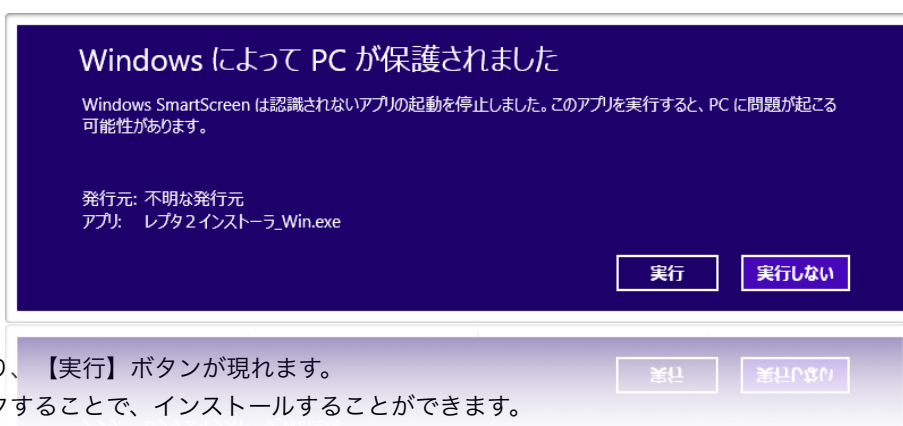
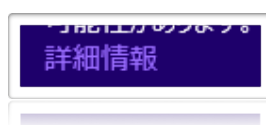
❖Windows SmartScreenについて

Windows 8以降では、インターネット上からダウンロードしたファイルを実行する前に、セキュリティ機能【Windows SmartScreen】が働きインストール出来ないことがあります。

ダウンロードしたアップデートファイルをダブルクリックして実行した後に、モニターに、【WindowsによってPCが保護されました】という画面が表示されます。



この Windows SmartScreenを解除してインストールするには、画面上の【詳細情報】をクリックします。



画面が切り替わり、【実行】ボタンが現れます。
こちらをクリックすることで、インストールすることができます。

❖マニュアルへの追加

V406での追加項目

マニュアルの追加項目はありません。

V405での追加項目

マニュアルの追加項目はありません。

v404での追加事項

マニュアルの追加事項はありません。

v403での追加事項

マニュアルの追加事項はありません。

v402での追加事項

マニュアルの追加事項はありません。

v401での追加事項

マニュアルの追加事項はありません。

v400での追加事項

マニュアルの追加事項はありません。

v350での追加事項

マニュアルの追加事項はありません。

v301での追加事項

マニュアルの追加事項はありません。

今後ともレプタ2をご利用頂けますようよろしくお願い致します。